

市長記者会見

1. 平成28年 可児市の10大ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 1

2. その他

□と き：平成28年12月21日(水)
午前10時～

□ところ：可児市役所3階会議室

可児市市長公室広報課
0574-62-1111 内線2309

○平成29年1月開催予定日時
1月26日(木)午後1時30分～

平成28年 可児市の10大ニュース

次のとおり、平成28年の10大ニュースを発表します。
なお、掲載は概ね日付順で、順位付けはしていません。

① 観光グランドデザイン始動 4/1

～郷土の誇りを、観光交流人口倍増へ～

地方創生の柱として「観光グランドデザイン」を策定しました。地域をはじめ多くの市民（団体）、企業の参画を得て協働のうえ市の魅力づくりを進めていきます。7つの柱からなり、平成30年度までの計画内容です。

○美濃桃山陶の聖地

本質に触れる体験として、「随縁に集う」、「かに窯めぐり」、「小中学校お茶講習会」を実施しました。また、国内外に美濃桃山陶の聖地をPRするため、動画や画像を多く取り入れたホームページを充実させました。

○戦国城跡巡り

城跡のPR及び城跡を活用した地域づくりへの参画者増を目指し、チャンバラ合戦や山城PR事業「山城に行こう」を実施しました。また、SNSと連携した画像UP機能を持ち、動画等も掲載したホームページを作成しました。

地域で山城の整備やガイド等の活動をしている団体を統括する可児市山城連絡協議会が結成され、山城のPR活動や山城の整備等を以前にも増して活発に行いました。

※参加状況等

随縁に集う	71人
かに窯めぐり	22人
小中学校お茶講習会	8校（小学校6、中学校2）
チャンバラ合戦	5,059人（12/1現在）
山城に行こう	3,161人

担当：観光交流課、文化財課

② 「かにっ子ナビ」運用開始 4/1

～スマホを活用した妊娠・出産・子育て情報の提供～

子育て世代にスマートフォンやタブレット端末を使っていつでも気軽に利用していただける、市の情報発信「かにっ子ナビ」を開始しました。

妊娠中の記録や子どもの成長の記録などを写真と一緒に日記のように書き込むことができ、また、予防接種の日程を入力しての管理や、子どもの健診の記録などの管理もできます。さらに、それらの情報を家族と共有することもできます。その他、市からの妊娠・出産・子育て情報や子どもの月齢に応じた情報も気軽に見ることができます。

担当：健康増進課

③ 議会改革の取り組み

～市民に開かれ親しまれる議会を目指して～

○議場を開放 6/23

バラ議会と名づけられた6月定例会中に、議場において新日本フィルハーモニー管弦楽団員5人によるクラシックコンサートが行われました。バラにちなんだ演奏も行われ、普段あまり訪れることのない議場に気軽にお越しただけるよう、初めての試みとして開催されました。

また、12月2日には今年4月に発生した熊本地震の被災地を視察した議員(14人)による報告会が開催され、地震が起きたとき、市民、地域、行政、議会がどのような行動をすべきかなどの報告や市民との意見交換が行われました。

○ママさん議会を開催 8/23

若い女性に議会の活動を知っていただき、議会に親しんでいただくこと及び子育て世代から意見を聞くために「ママさん議会」が開催されました。平成30年春に可児駅前に開館予定の子育て支援施設の活用方法について、様々な角度から活発な意見交換を議員と行い、その結果を議場で発表されました。

担当：議会事務局

④ 参議院議員通常選挙で18・19歳が高投票率 7/10

～市内高校での主権者教育などが奏功～

初めて18歳選挙権が適用された参議院議員通常選挙での18・19歳の投票率において、可児市は53.3%と、全国46.8%、岐阜県49.0%を大きく上回りました。

なお、全年齢での投票率は、可児市57.5%、全国54.7%、岐阜県57.7%でした。

※市内高校での主権者教育

- ・市議会主催の模擬投開票（可児高校1・2年生569人） 3/25
- ・市選管主催の出前講座（可児工業高校生徒会14人） 5/27
- ・市選管主催の模擬投開票（帝京可児高校3年生184人） 6/10

担当：選挙管理委員会事務局

⑤ かにっこ海外交流訪問団派遣 8/18～8/27

～オーストラリアで驚きの体験～

可児市の子どもたちのコミュニケーション能力の向上、国際人感性の習得などを目的に、中学生・高校生をオーストラリアのレッドランド市に派遣する事業を立ち上げました。市内在住の中学生・高校生14人、引率ボランティア1人が参加し、ホームステイ・観光・自然学習・学校体験（授業参加）等を体験しました。一般の旅行では見ることのできない、可児の子どもたちだから体験できた野生動物見学など、驚きと感動の感想が参加者から寄せられました。

担当：観光交流課

⑥ 公共用地無償貸付による認可保育園の建築着工 8/31

～待機児童の解消と女性が活躍できる社会実現のため～

保育園の待機児童対策の一つとして、老人福祉センター可児川苑西側（可児市塩1272番地）の公共用地を無償貸付する認可保育園の開園にむけて、建築工事の地鎮祭が8月31日にとりおこなわれました。発注者は、市内広見保育園を運営する社会福祉法人村の木清福会で、新園名は“はぐみの森保育園”です。平成29年4月の開園に向けて急ピッチで工事が進められています。平成28年10月1日現在で市の待機児童は8人となっており、待機児童解消に向けて大きな役割を果たすことを期待しています。

この他、4月には今渡地区に定員19人の小規模保育園の認可、通年のキッズクラブ定員の増員、Lポート可児の和室を利用しての夏休み臨時キッズクラブの開室など、更なる子育て支援の充実を図りました。

※はぐみの森保育園定員：102人（0歳→12人、1歳→12人、2歳→18人、3歳→20人、4歳→20人、5歳→20人）

担当：こども課

⑦ 市有地を活用した障がい福祉施設の着工

～障がい福祉サービスの向上～

○障がい福祉サービス施設の着工 10/12・10/25・11/1

市は、障がいのある方やその家族の方から障がい福祉サービスを提供する施設整備を求める多くの声をいただいております。市障がい者計画において、これらのサービスが提供される場を確保することとしています。

これを踏まえて、市有地を無償貸与して障がい福祉サービスを提供する民間事業者を募集するなどの取り組みを進めてきました。その結果、民間事業者が建設・運営を行う4つの障がい福祉サービス施設の工事が、国の補助金などの採択があり本年10月から11月にかけて始まりました。施設の完成は、今年度末の予定となっています。

今回建設工事が始まった施設は、障がいのある方に福祉的就労の場や就業の訓練、居住の場の提供を行う施設になります。

【三ツ池第2ホーム】10/12

所在地：可児市東帷子3827-6（市営三ツ池住宅跡地・増築）

設置主体：社会福祉法人 可茂会（可児市）

事業内容：共同生活援助（男性用グループホーム／定員5人／入所）

【サンライズ可児の杜】10/25

所在地：可児市瀬田1129-1（瀬田教職員住宅跡地・新設）

設置主体：社会福祉法人 大和社会福祉事業センター（関市）

事業内容：共同生活援助（グループホーム／定員8人／入所）

【ハートピア可児の杜】10/25

所在地：可児市瀬田1129-1（瀬田教職員住宅跡地・新設）

設置主体：社会福祉法人 大和社会福祉事業センター（関市）

事業内容：生活介護事業（定員20人／通所）・就労移行支援事業（定員6人／通所）

作業内容：製麺（うどん、ラーメン、そば）、配食弁当など

【けやき可児】11/1

所在地：可児市広見 661-2（市民センター跡地・新設）

設置主体：社会福祉法人 みらい（多治見市）

事業内容：就労移行支援事業（定員 25 人／通所）・就労継続支援 B 型（定員 20 人／通所）

作業内容：喫茶、配食弁当、クリーニングなど

担当：福祉課

⑧ 「駅前拠点施設」の着工 10/21

～多世代によるにぎわいを～

「マイナス 10 カ月から つなぐ まなぶ かかわる 子育て」を子育て支援の基本理念として掲げ、子育て世代の安心づくりに取り組む拠点施設となる（仮）可児駅前“子育て・健康・にぎわい空間”施設の整備工事安全祈願祭が、JR 可児駅前の公共用地において 10 月 21 日行われました。今後、平成 30 年春の開館を目指し工事を進めていきます。

同施設は子育て支援を総合的にサポートするとともに、健康づくり、高齢者の生きがいづくりを展開し、多様な市民の交流・絆づくりの場となります。

担当：子育て拠点準備室

⑨ 平成 27 年国勢調査結果公表 10/26

～日本の人口減少の中、可児市人口増える～

平成 27 年国勢調査の結果、98,695 人（平成 22 年比較 1,259 人増 1.3% 増）と調査が始まって以来過去最高の人口となりました。市はこれまで企業誘致などによる働く場の増加、美濃桃山陶の聖地・戦国時代の山城跡などの地域資源を生かした市の魅力向上・発信、安心して子育てできる環境づくり、地域で安心して暮らし続けることができる支え合いのしくみづくりなどを進めてきました。こうした様々な取り組みによって、本市の魅力や住みよさが認識され、人口増加につながっていると評価しています。

日本全体の人口については、大正 9 年の調査開始以来、初めて減少（96 万 3 千人減 0.8% 減）しました。

【人口増加】全国 300 市町村（17.5%）／1,719 市町村

岐阜県内 6 市町（14.3%）／42 市町村

※可児市の人口増加数 1,259 人（県内 2 番目）

内訳：外国人 814 人、日本人 328 人、国籍不詳 117 人

担当：総合政策課

⑩ 「いじめ防止自治体サミット in 可児」を開催 11/20

～いじめ問題に最前線で取り組む自治体や国の最新の考えを発信～

可児市主催で、コーディネーターに尾木直樹氏、パネリストに、大津市長、箕面市長、文部科学省児童生徒課長を招き、いじめ問題への取り組みの意見発表とパネルディスカッションを行いました。

1 基調講演 『いじめ問題をどう克服するか』

～悲劇の連鎖を止める！学校、家庭社会にできること～

講師 尾木 直樹

2 パネルディスカッション

コーディネーター 尾木 直樹

パネリスト	滋賀県大津市長	越 直美
	大阪府箕面市長	倉田 哲郎
	文部科学省児童生徒課長	坪田 知広
	可児市長	富田 成輝

総合司会 刀根 麻理子

※入場者数 700 人（全国からの参観自治体 20 団体 36 人）

※可児市人権啓発センターによる「人権啓発標語・300 字小説入賞作品展」
を同時開催

担当：人づくり課